

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

ボラナビ

11月号

無料

10月25日発行(第27号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。

今月の表紙は、お花屋さんで働いているという東区の吉田真波さん(21)の作品です。「見る人に温かい気持ちになってもらえるような絵を描いていきたい」とおっしゃっていました。この作品も、心をふんわりと暖めてくれるようですよね。



特集

NPOのメッカ、サンフランシスコ訪問①

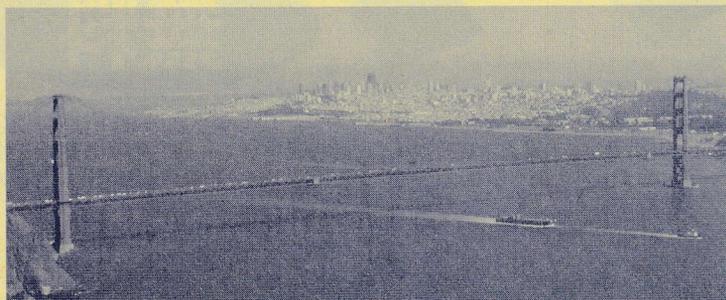
グライドメモリアル教会のNPO活動

NPOのメッカ、サンフランシスコ訪問①

グライドメモリアル教会のNPO活動

公共的なことは行政が税金を使ってやるものという意識から、要望したり待つばかりでなく、気づいた人たち自らが、実際に、より良いやり方で、できることからやっていくボランティア、NPO（非営利組織）活動が日本でも活発になってきました。一方アメリカでは、NPOはすでに地域にとって欠かせ

ない存在になっています。どんなところでどんなNPOが活動しているのか、特に盛んな街として知られている西海岸のサンフランシスコ市をボラナビスタッフが訪ねてきました。



サンフランシスコの象徴、ゴールデンゲートブリッジ

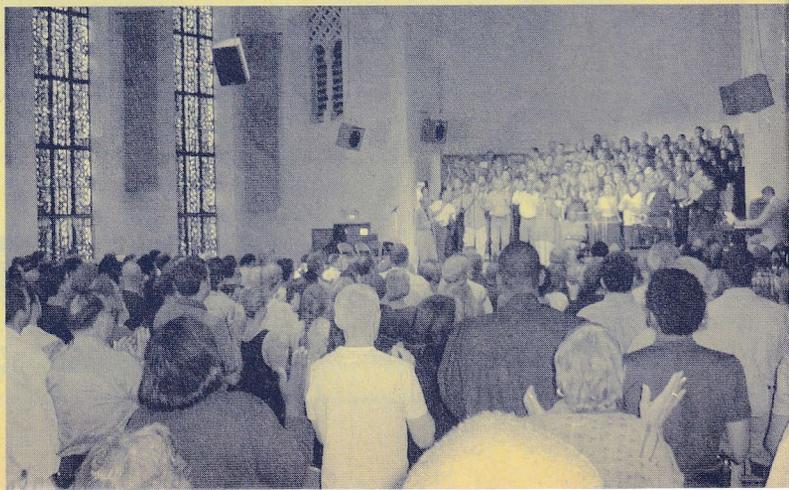
リズムカルな礼拝

貧困者のためのさまざまな活動をしている教会がありました。サンフランシスコでもっとも貧しいテンダロイン地区にあるNPO「グライドメモリアル教会」です。日曜の朝9時、礼拝に参加しました。いろいろな人種の方600人ぐらいで、客席はびっしりです。驚いたことに、オルガンではなくキーボードの演奏がスピーカーから鳴り響き、聖歌隊がゴスペルを歌いながらステージに上がってきて礼拝は始まりました。まるでコンサートのように。客席は一気に盛り上がり、みな立ち上がって、ノリのいい曲にアレンジされた「ハレルヤ」を歌いだします。

正面には、世界各地の紛争、美しい自然、人の顔のアップなど、スライドが次々に映し出され、光と音楽に圧倒されてしまいました。このユニークな礼拝は、多くの方が来やすいようにと始まったそうです。希望者が入りきれないので、日曜の朝に2回に分けて行われています。



グライドメモリアル教会。
中心街から近いが、この辺りは人通りは少ない



礼拝が始まるといきなり手拍子

毎日約3000人に無料の食事

教会の地下にある食堂では、毎日、朝昼晩、希望する人に無料で食事を提供する活動をしています。礼拝のあと、昼食の活動に参加させてもらいました。食事をするために集まった人は約800人。列は教会の外まで続いています。調理、食事の盛り付け、後片付けをするのは教会のスタッフやボランティアの方30人ほど。ボラナビスタップも、前半は水配り、後半はサラダの盛り付けをしました。水を配っているとき、食事をしている人たちに「どこから来たの？留学生？」「このお皿は前の人のだから、下げてくれないかな」など、ずいぶん明るく話し掛けられました。住むところがない、お金がなくて自分で食事を用意できない人たちがほとんどなのですが、ここには難しい話も説教もなく、和やかです。2時間半、休むまもない配膳のボランティアに参加している学生さんや社会人の方も、笑顔を絶やしません。コンピューター会社でシステムエンジニアをしているという20代の男性は「やりがいがあるし、普段やっている仕事の内容と全然違うのがいい」と言っていました。ボランティアをされる側もする側も楽しげなのが印象的でした。



ボランティアの方たちが流れ作業で盛り付けを担当

教会では、安全や衛生管理にとっても気を使っています。「おかわりがほしい」と配膳室にまで入ってきた男性に対し、終始にこやかだったスタッフの人が「こっちには絶対くるな」と怒鳴りつけたひと幕もありました。配膳する私たちは全員、エプロン、手袋、髪をまとめ

ネットを着用。教会の入リ口には鋼鉄製のドアがあり、見張りの人がついていてます。安全とはいええない地域で細心の注意を払いながら、食事支援は30年以上続けられています。理事で牧師婦人のジャニスミリキタニさんは「飢えに直面する人は、プライドを放棄し、罪を犯しやすくなります。食事を与えることで彼らを甘やかしているといわれることもあるが、そうではありません。彼らを励ましている存在があることを知ってもらい、生きる希望を与えることが大切です」と話してくれました。



今日のメニューは、ビーフ、ポテトと豆の煮込み、ニンジン、サラダ、パン、ゼリー、牛乳。お肉がおいしかった。量はとても多いのに、2回食べに来ていた人もいた。

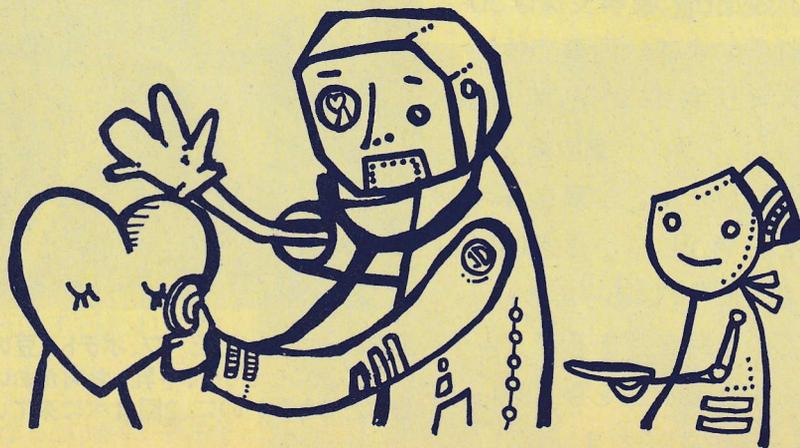


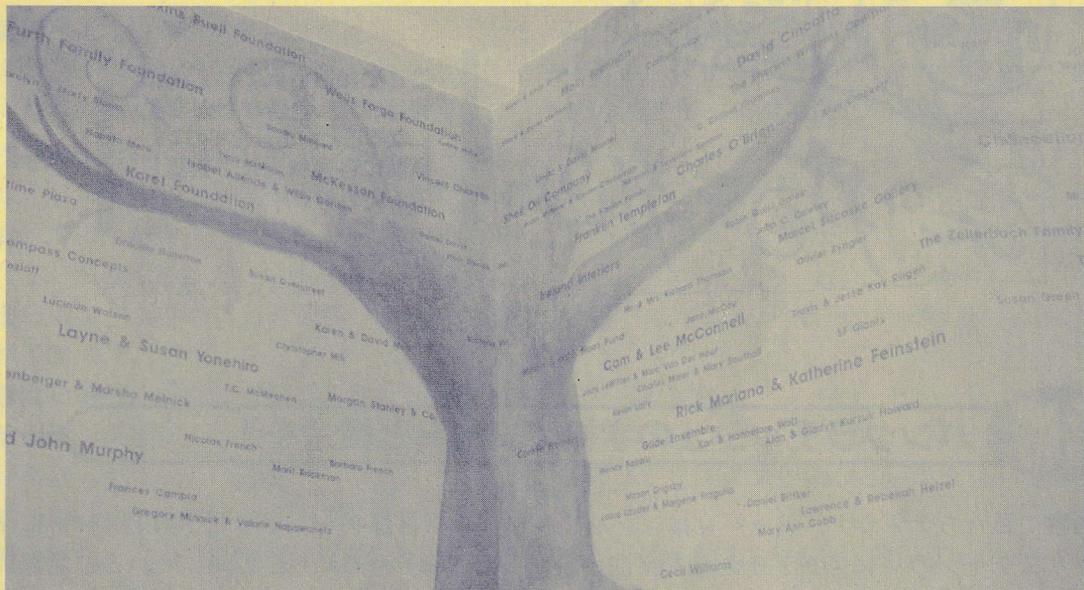
コンピュータークラスを受講している人たち

グライドメモリアル教会では、このほか、緊急駆け込み所、薬物依存克服、ホームレス支援、高齢者支援、保育所、医療教育、エイズ患者支援などの「シェルター・生活保護活動」や「職業訓練」もおこなっています。貧しい人々、ホームレス、慢性的に失業状態におちいっている人が対象です。ラグ常習者でないかや、現在身につけている技術、学習に対する意欲などをチェックした後、履歴書の書

き方、コンピューターの使い方、会社の面接での受け答え、ふさわしい服装、そして自信と自尊心が身につくよう訓練していきます。初めは食べ物や緊急の援助を求めて教会にきた人たちは、さまざまなプログラムを紹介されることで、自然にクラスに入っていけるようになっています。

教会が特に力を入れているのは、賃金の高い仕事につながるコンピューターのクラスです。コンピューターを習いにきているプリンダさんは「最初は触ったことがなかったので、コンピューターを怖いとさえ感じた。でも、いずれ必要になるだろうからと勇気を出しました」と話してくれました。失業中という20代と50代の男性も、ここで勉強し、就職に有利になる「A+」という資格に受かったと喜んでいました。この資格をとるために民間のパソコンクラスに通うと30万円くらいかかるそうですが、この教会では無料で受講することができます。





寄付者の名前が書いてある壁。女優シャーロンストーンさんの名も。
この上の階には、木の上の部分と、さらに名前が続いている

教会の活動資金は、企業や個人からの寄付です。また、ここで働いているスタッフの半数は、以前はここで支援を受ける立場だった人で、自立できる仲間を増やしたいという気持ちから協力しているそうです。活動を支えるボランティアがいるから、貧しい人たちが集いやすい雰囲気なのでしょう。「死を思い起こさせるので十字架は取り外している」（ジャンスさん）という一風変わったグライドメモリアル教会では、生きた活動が実践されていました。



今回の視察には、サンフランシスコ在住のフリージャーナリスト岡部一明さんにとってもお世話になりました。岡部さんは、アメリカのNPO活動を紹介すると共に、日米間の市民交流活動に携わっています。最新著作「サンフランシスコ発:社会変革NPO」（御茶の水書房/2600円税別）は好評発売中です。



岡部一明さん



ここに掲載されている各情報
は、日時、場所などが変更
になることがありますので、
事前に各連絡先まで確認し
てください。

イラスト：タケダミヲ

常時

Bangladesh の学校に文房具と資金を！

●**内容**：私たちティカナ・ジャパンは、ジャマルプール（首都ダッカから北へ約 120 ㎞）に住むクリスチャンの Bangladesh 人女性が設立した NGO ティカナと共同して、この地域に小さな学校を設立します。その学校で子供たちが使うえんぴつやノートを集めている他、連絡手段に使うパソコン、教師の給料や学校の運営費、文房具を現地に送るための費用などに当てる資金集めをしています。未使用の文房具（ノート、えんぴつ、消しゴム）を寄付して下さる方、使用しないパソコンをお持ちの方、是非下記までご連絡ください。

●**問い合わせ先**：NGO ティカナ・ジャパン TEL 0155-35-5039（金・日曜日以外の 11:30～18:00）

E-mail：ponnitay@m14.alpha-net.ne.jp

ホームページ：http://tech.obihiro.ac.jp/~thikanaj/

●**送付先**：帯広市新町西 8 丁目 21 ティカナ・ジャパン

常時

創作活動の講師ボラ・介助ボラ ボ集

●**内容**：社会福祉法人アンビシャスは、障害のある者もない者も一緒に地域に参加できる開かれた施設として、また、地域の方々が自由に出入りできる空間づくりを目指して、今年 4 月にオープンしました。今後、利用者の方々の活動をより充実していくために、デイサービスセンター「いるか」、通所授産施設「自由工房」のボランティアさんをボ集します。

<ボラ内容>①講師ボラ：陶芸、ペーパークラフト、パソコン、絵画、音楽など各種創作的活動。いろいろな特技をお持ちの方、腕に覚えのある方、お待ちしております。

②介助ボラ：主としてデイサービスを利用する方の上記の活動の補助、話し相手など。

●**曜日・時間**：いずれも相談に応じます。（デイサービス、通所授産施設の活動時間帯は月～金曜日、10:00～15:00 です）

●**場所**：アンビシャス施設内（手稲区西宮の沢 6 条 2 丁目 344）

*地下鉄東西線「宮の沢駅」より送迎車両が運行されています。

●**連絡先**：社会福祉法人アンビシャス（担当：金田）TEL 011-669-2222 FAX 011-669-3000

●**その他**：ボランティア保険の加入をお願いします（自己負担。年 300 円からです）。

常時**子ども達のキャンプカウンセラー 募集**

●**内容**：北海道自然文化教育促進会は、自然、文化面に関する教育を促進するための団体です。余市・小樽・札幌地区中心に、幼稚園年長児から中学生を対象とした野外プログラムの企画運営を行なっています。様々な体験を通して「五感を通じて、自然の美しさを感じること」「その場で工夫して楽しく遊ぶこと」「チャレンジすること」「ふりかえること」を大切に考えています。現在、スタッフを募集しています。内容は子ども達のキャンプカウンセラーとしての活動です。年齢や性別、資格等は問いません。子どもが好きで、自然が好きな方であれば大歓迎です。関心のある方、是非ご連絡下さい。

●**日時**：主な活動は毎月第2・4の土・日曜日。時間は、だいたい8：00～20：00（日曜日は18：00まで）です。

●**活動場所**：小樽を中心に後志支庁、札幌近郊がメインです。

●**備考**：交通費やその他、個人装備の準備費を一部支給しております。なお、第一土曜日には、研修会（ゲーム、自然観察、カウンセリング、救急法、キャンプ技術など）があり、こちらにも参加していただける方を募集しています。

●**連絡先**：北海道自然文化教育促進会（〒047-0155 小樽市望洋台2-14-1 望洋ヴィレッジ内）
TEL 0134-54-6468 FAX 0134-52-3007 E-mail:yuttan@mint.ocn.ne.jp（担当：小松）

常時**ドライバー 募集**

●**内容**：「電動車いすとボランティアの会」は、障害者やお年寄りなどハンディのある方々の介助サービスを行っている団体です。リフトカーによる移送サービスを行っていますが、そのリフトカーを運転するドライバーを探しています。障害者等、ハンディキャップのある人達に理解のある方、是非お手伝いをお願いします。

●**日時**：月～金曜日（土・日可）の空いている時間で月に1～2度でも結構です。

●**備考**：普通免許で運転できます。

●**連絡先**：電動車いすとボランティアの会事務局（西区八軒6条東3丁目1-1）
TEL 070-5617-0189（13:00～21:00）FAX 011-747-3256（担当：引地）

常時**病院での話し相手 募集**

●**内容**：私の父（81歳）は、パーキンソン症状を伴った脳梗塞で現在入院中です。3月末頃より言葉が出なくなり、今は歩行もできず、食事介助してもらわないと1人ではできません。母はすでに他界しており、私も日中勤めていて、平日病院に行けるものがおらず困っています。そこで月～金曜日までの日中、父のところへ行って顔を見てお話して下さる方を募集しています。毎日ではなく結構ですので、よろしく願いいたします。なお、食事介助は必要ありません。

●**日時**：月～金曜日の日中

●**場所**：札幌太平病院（北区百合が原11丁目186番地）

●**連絡先**：南トメ子 TEL 011-771-0757（18:30すぎにご連絡ください）

常時**冬休み 学童保育所のお手伝い 泊集**

●**内容**：共同学童保育所「屯田はなクラブ」では、現在、元気なやんちゃ盛りの1～5年生までの子供達が放課後、指導員2名と過ごしています。これから冬休みが始まると、子供達はパワー全開となり、指導員の昼休みがほとんど取れない状態になります。そこで、指導員が交代で昼休みを取れるようボランティアさんを泊集します。体力があり子供が好きな方、お願いします。学生さんでもOKです。交通費等は支給できませんが、子供達と遊んだ後、一緒におやつを食べることができます。

●**日時**：12月～来年1月の小学校の冬休み期間（ただし、年末年始、土・日、祝日は除く）
11:00～14:00（多少前後してもOKです）

●**場所**：北区屯田4条7丁目4-10 屯田はなクラブ

●**問い合わせ先**：TEL/FAX 011-772-7316（10:00～17:00）

ホームページ <http://www.pure21.com/hana/>

**9月の集い**

9月のポラナビの集いでは、日本で使われなくなった車いすを、車いすが足りなくて困っている国に送る活動をしているNPO法人「飛んでけ！車いす」の会の吉田さん、佐藤さん、蔭山さんにお話を伺いました。

会ができて2年半で、250台以上の車いすを、ベトナム、フィリピン、インドなど13カ国に送っているそうです。海外には、旅行者に協力してもらって、飛行機の機内手荷物として一台持ってもらい運んでいます。タイに一人旅をしたときに、ボランティアとして車椅子を運んだ佐藤さんは、「大量に運ぶのと違って効率が悪いように感じられるかもしれませんが、費用がかからないだけでなく、実際に一台運ぶことでとてもいい経験になります。僕自身、自分が運んだ車いすに乗っている女の子の写真を見て、役立てたことが嬉しかったし、その後はタイのニュースが気になるようになるなど視野が広がったように感じます」とおっしゃっていました。ポラナビの集いに来ていた参加者数人は会の活動に感心し、早速、会員になっていましたよ。

「飛んでけ！車いす」の会では、車いすを海外に運んでくれる人、会を支えたり運営を手伝ってくれる人、車いすを提供してくれる人を募集しています。

問い合わせは、TEL/FAX 011-242-8171 E-mail tondeke@anet.ne.jpどうぞ。

常時**夜間介護ボラ 募集**

- 内容**：筋ジストロフィーの女性（49才）で、車いすで生活しています。ムチうちや肩こり、1日中続くしゃっくりと戦っています。眠っている間も足がだるくなるので、タワシや手で足を叩いたり、飲み物を用意してくださる方を探しています。夜間の時間帯は、用事がある時に呼んでお願いします。ボランティアさんには一室を設けますので、そこで休むなり、本を読むなり、自由にして下さって構いません。年齢・性別は問いません。どうぞよろしくをお願いします。
- 日時**：18:00か19:00～翌朝9:00まで（時間は相談に応じます）
- 場所**：厚別区厚別中央1条4丁目1番E19-104
- 連絡先**：TEL 011-893-5342 古海照子
- 備考**：交通費込みで3000円お支払いさせていただきます。

急募**日常生活のお手伝いをしてくれる方 募集**

- 内容**：こんにちは、私は鹿野靖明（40才）です。筋ジストロフィー症で人工呼吸器を使用しています。日常生活のお手伝いをしていただけませんか？緊急に有料の泊りボラさんをさがしています。
- 年齢**：18～50才くらい
- 日時**：毎週 月曜日 21:00～翌朝10:00位（時間相談可）
隔週 水曜日 21:00～翌朝11:00位（時間相談可）
隔週 土曜日 21:00～翌朝11:00位（時間相談可）
*多少仮眠はできます。基本的には2人体制です。
- 場所**：西区山の手2条2丁目3-1山の手団地1-8（地下鉄「琴似駅」から徒歩8分）
- 謝礼**：基本的には泊りで5000円＋交通費（実費）です。
- 連絡先**：TEL/FAX 011-666-6733（佐藤）
- 備考**：ボランティアの方も募集しています。
月～土曜日 17:30～21:00（時間相談可）
日曜日・月1回 11:00～18:30
泊り 21:00～翌朝9:00位まで
（研修中は月2回位を希望、また研修中は1人になることはありません。仮眠はできます）

常時**移動美容室を利用しませんか？**

- 内容**：高齢者の方々や外出の難しい方、施設・病院へ直接移動美容車両（4トントラック）でお伺いして、車両内でカット・パーマ等を行います。トラックはリフト付ですので車椅子の方でも安心してご利用できます。サービス内容は、カット、カラー、パーマまで、美容室と同じメニューを行うことができます。移動美容室の車両駐車スペースがあるところ、5名様以上でお申し込みください。なお、出張美容のサービスもしております。詳しくはお問い合わせ下さい。
- 料金**：カット（シャンプーブロー）、パーマ、カラー（シャンプーブロー）全て3000円
- 問い合わせ・お申し込み先**：（有）サバス（中央区南3条西2丁目伊太利垂ビル3F）
TEL/FAX 011-221-3123 E-Mail:saisabas@comco.ne.jp（担当 佐野）

常時**あしなが育英会「東京レインボーハウス」建設へご協力を**

●**内容**：98年に引き続き、99年1年間で自殺者は3万人を越え、98年を上回りました。自死遺児（自殺者の遺児）も年間1万2千人のペースで増え続けています。この自殺者の急増という事実を通して見えるものは心のケアの重要性です。親を自殺で亡くした子らは、自分の親が自ら自殺を選んだというショックのみならず、その後も自殺に対する社会の偏見に苦しみます。その事実を誰にも言えず、孤独に追いやられます。その心の負担は大きいものです。心の痛みを抱えているのは、自死遺児だけではありません。病気・災害遺児ら全ての遺児がそれぞれの死因によって特有の痛みを抱え込み、苦しんでいます。私たち「あしなが育英会」では、今回、自死遺児を含めた全遺児を日常的にケアできるデイケアセンターである「東京レインボーハウス」（仮称）の建設を目指しています。その建設のため、皆様から次のようなご協力をお願いいたします。

●**参加方法**：①街頭募金スタッフ（当日飛び入り大歓迎）－11月3日（祝日）札幌・三越前で10:00～17:00の間、何時間でも。（ボランティアスタッフとしてご参加ください）

②校内募金－学園祭・生徒会・クラスなどで独自に募金を実施してください。

③郵便振替－郵便振替口座『00140-4-187062 あしなが学生募金事務局』にご送金ください。

④学園祭などであしなが活動のご紹介、支援イベントなどの実施をお願いします。

●**問い合わせ先**：北海道代表 小林義和 TEL 090-2872-7695

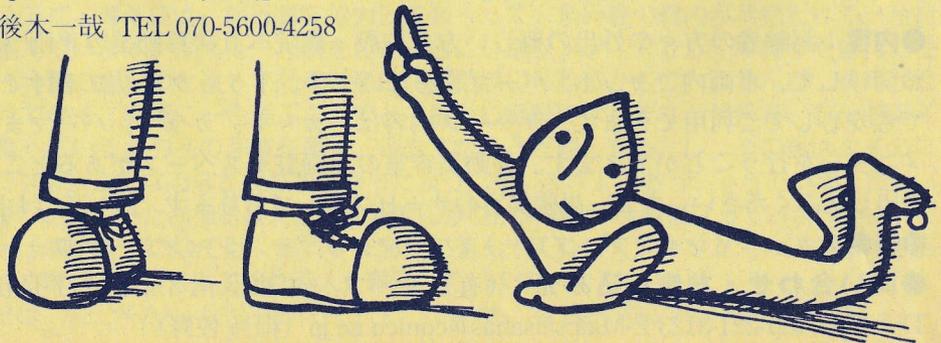
常時**北海道エコロジーギャザリングメーリングリストに登録してみませんか**

●**内容**：「北海道エコロジーギャザリングメーリングリスト」は、環境問題に関することなら何でも情報を共有しましょうということで運営されています。メーリングリスト（ML）というのは1つのアドレスに送ったメールが自動的に登録者全員に配信される仕組みです。最近の話題では、北大構内自然観察、北海道環境サポートセンターや市民活動団体からの環境イベント情報、旭川の自然食料理屋、バイオトイレ、干潟に関わる芝居、オホーツク環境&自然エネルギー学校、稚内の自然養鶏農家の話、釧路湿原塾からの公開講座案内、農薬や化学肥料の有害性についての質問と応答、支笏湖地域「緑のダイヤモンド計画」のご意見募集、政府環境基本計画見直しについてのパブリックコメント募集のお知らせなどがありました。メールアドレスのある方は登録されてはいかがでしょうか？

●**登録の方法**：次のホームページで登録ができます。

<http://member.nifty.ne.jp/miracleleaf/eco-gathering/entry.htm>

●**問い合わせ先**：後木一哉 TEL 070-5600-4258





12/23 青少年のための自己尊重トレーニング

●**内容**：自己尊重トレーニングは、自己肯定感を高め、人とのコミュニケーションスキルを考えるためのグループワークです。自分に自信が持てない人、自分らしく表現できないと感じる人、このトレーニングに参加してみませんか？対象は中学生～25才未満の男女です。

- 日程**：<2日間コース>① 12/23 (土)～24 (日) 10:30～15:00
② 12/26 (火)～27 (水) 10:30～15:00
③ 1/13 (土)～14 (日) 10:30～15:00

<8回コース>④ 1/18 (土)～3/7 (日) 間の毎週木曜日 13:30～15:00

(※各コース定員10名です。また、日程や時間は変更可能な場合もありますので、ご相談ください。)

●**会場**：社会福祉総合センター (予定)

●**参加料**：無料 (「子育て支援基金」の助成を受けています)

●**申し込み・問い合わせ先**：ネットワークCAPさっぽろ (東区北19条東2丁目)

TEL/FAX 011-721-7834 PHS 070-5288-1326

E-Mail: off.mil@fine.ocn.ne.jp

11月のボラナビの集いの
ゲストスピーカーです。

11/22 字幕付映画を上映します

●**内容**：耳の不自由な方にも映画を楽しんでいただくため、主婦らが中心となって映画に字幕を付ける活動を続けている視聴覚ボランティア・レインボーです。私たちが字幕付けをした映画の試写会が下記のとおり開催されます。入場は無料。一般の方の参加も可能ですので、是非映画を楽しみにいらしてください。なお、今回はムービー北海道さんのご協力により2作品に副音声も付く予定です。

<上映作品>

(1) 木を植えた男 (30分) 字幕・副音声付～ある日、私は不毛の大地にドングリを植え続ける男と出会った。数年後、彼のもとを訪ねてみると、その大地は……。自分のやるべきことを信じ、打ち込んだ男の献身的な働きぶりを描いたアニメーション～

(2) 細川紙の美を渡く～和紙の心～ (30分) 字幕付～埼玉県小川町で産する重要無形文化財を、江原土秋氏の技を通して描いた作品～

(3) おばあちゃんのお手玉 (36分) 字幕・副音声付～ひとつ屋根の下に暮らすあるお年寄りと息子夫婦のトラブルと日常を描いたドラマ～

●**日時**：11月22日 (水) 10:00～12:00

●**場所**：教育文化会館4階講堂 (中央区北1条西13丁目 東西線 西11丁目駅下車徒歩5分)

●**問い合わせ先**：TEL/FAX 011-694-0512 (出川)

11/2

「心暖かな医療」講演会とライブのご案内

- 内容**：故遠藤周作氏の作家活動と闘病生活を支えた妻順子さんが「心暖かな医療～夫遠藤周作からの宿題」と題した講演を行います。あわせて、人気絶頂難病患者のデュオ「絶食ブラザーズ」がトークとライブを行います。入場無料です。整理券が必要です。多くの方のお越しをお待ちしています。
- 日時**：11月2日（木）13:00～15:30（開場12:30）
- 場所**：共済ホール（中央区北4条西1丁目 TEL 011-251-7333）
- 整理券配布場所**：各区保健福祉部地域保健課、市役所本庁舎1階パンフレットコーナー、ふれあい広場（地下鉄大通駅定期券売場横）、北海道難病センター
- 備考**：主催は札幌市、企画は（財）北海道難病連札幌支部（中央区南4条西10丁目北海道難病センター TEL 011-512-3233 FAX 011-512-4807）です。
- 絶食ブラザーズとは**：具体的な治療や特効薬がなく、治療法として絶食療法を余儀なくされ、エイズなどと共に厚生省に難病指定を受けている病気の一つ「クローン病」。この病気と闘いながら、上田雅一（29歳、士別市出身）と山田浩貴（27歳、旭川出身）が1996年に結成したバンド。日本全国で約1万5千人がこの病気と闘っている。

11/12

勇気づけの親子・対人関係セミナー SMILE札幌コース

- 内容**：SMILEは、アドラー心理学を基盤にし、人間関係の基本である親と子の対応の仕方をモデルケースとしてプログラム化した対人関係セミナーです。学校現場での生徒との対人関係をはじめ、職場の同僚、家族とのコミュニケーションをより潤滑に出来ると好評で、全国では12000人の方が受講しています。このセミナーの札幌コースを下記のとおり開催します。
- 講師**：岩井俊憲（アドラー心理学指導者、ヒューマン・ギルド代表）
- 日時**：11月11日（土）9:30～19:00、11月12日（日）9:30～17:30
- 場所**：ディケア・クリニック ほっとステーション（中央区大通西5丁目 昭和ビル2F）
TEL/FAX 011-233-5255 or 011-233-5256
- 受講料**：28000円（税込み）
- 申し込み・問い合わせ先**：ヒューマン・ギルド TEL 03-3235-6741 FAX 03-3235-6625
- その他**：託児サービスがあります。希望される方は、11月3日（金）までに会場となるディケア・クリニック ほっとステーション長谷川までご連絡ください。

11/11

「はーとふるフェアinみなみ」ボランティア講習会

- 内容**：これからボランティアを始めたいと思っている方、すでに始めている方、ボランティアに興味のある方を対象に、講演・施設見学会を行います。先着30名程で無料です。是非ご参加ください。
- 日時**：11月11日（土）13:30～16:00
- 場所**：真駒内ハイツ北海道青少年会館（南区真駒内柏丘7丁目8番1号 駐車場有り）交通一地下鉄「真駒内」駅より市営バス8分、または送迎バス有り（真駒内中学校フェンス横より13:05発）
- 講習会内容**：①講演会「ボランティアに生きる」講師 斎藤悦子氏（北海道ボランティアコーディネーター協会理事、東札幌病院ボランティアコーディネーター）
②施設見学会「介護老人保健施設 グラーネ北の沢」
- 問い合わせ・お申し込み先**：医療法人北志会 札幌ライラック病院
TEL 011-812-8822 FAX 011-831-2015（担当 山崎雄一郎）

11・12月**ボランティア研修センター研修会**

●**内容**：札幌市ボランティア研修センターでは、次の3つの研修会に参加する方を募集しています。

●**研修会名**：市民福祉講座

●**対象**：福祉に関心のある方

●**日時**：11月14日（火）・16日（木）・17日（金）・20日（月）・22日（水）計5日間。
時間はいずれの日も10：00～12：00。

●**内容**：福祉をめぐる現在の動向と現行のサービス、福祉の基本について学ぶ

●**内容**：80名 ●**受講料**：1,000円

●**申し込み**：電話またはFAXにて先着順

●**研修会名**：市民ボランティアナイトスクール

●**対象**：ボランティア活動に関心はあるが日中学ぶことができない方

●**日時**：11月17日（金）・20日（月）・22日（水）・24日（金）・27日（月）。
時間はいずれの日も18:30～20:30。

●**内容**：ボランティアの本来の意味や基本的な内容を広く学ぶ。

●**定員**：50名 ●**受講料**：1,000円

●**申し込み**：11月6日（月）8:45から電話またはFAXにて先着順

●**研修会名**：一日福祉講座

●**対象**：福祉に関心のある市民

●**日時**：12月1日（金）10:00～12:00

●**内容**：公的介護保険と家族介護について

●**定員**：80名 ●**受講料**：無料

●**申し込み**：11月17日（金）8:45から電話またはFAXにて先着順

●**申し込み・問い合わせ先**：札幌市ボランティア研修センター

（中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2F 地下鉄西11丁目徒歩5分）
TEL 011-223-6005 FAX 011-261-8881

●**申し込み時の注意**：FAXにてお申し込みの方は、必ず受講希望講座名、住所、氏名、性別、年齢、職業、電話・FAX番号をご記入ください。

●**会場**：すべて札幌市ボランティア研修センター

11/3**世界一周達成！「シーガル号」艇長の講演会**

●**内容**：母港を道内とするヨットで、初めて世界一周に成功した「シーガル号」艇長 野村輝之氏の講演会です。若者に勇気と感動、夢を与えてくれた3年がかりの世界一周航海。そのお話はきっと多くの方に感動を与えてくれることでしょう。中学生、高校生の参加もお待ちしております。

●**日時**：11月3日（祝日）10:00～11:30

●**場所**：山鼻福祉センター 2F ホール（中央区南24条西13丁目 市電 中央図書館前から徒歩3分）

●**入場料**：無料

●**問い合わせ先**：幌南町内会社会部 岡崎 TEL 011-551-8835（18:00以降にご連絡ください）

11/3・4

ノルディックライトSAPPORO 2000

●内容：11月3日と4日に「ノルディックライト SAPPORO 2000」を開催します。

<ノルディックライト SAPPORO 2000 市民交流コンサート>

フィンランド・オストロボスニア室内管弦楽団と、公募により結成した市民合唱団との共演で『フィンランディア』などを演奏します。また演奏終了後には、ドリンク・デザート付きの交流会を行います。

●日時：11月3日（祝日）14:00～16:00

第1部演奏会：オストロボスニア室内管弦楽団（指揮/ユハ・カンガス）、ピアノ/館野泉、
合唱/市民合唱団、メゾソプラノ/駒ヶ嶺ゆかり

第2部：交流会

●場所：札幌芸術の森アートホール

●入場料：2000円（市内各プレイガイドおよび国際プラザで発売中）

<ノルディックライト SAPPORO 2000 ノルディックコンサート>

フィンランド・オストロボスニア室内管弦楽団とフィンランド在住のピアニスト館野泉氏との共演による北欧作品のコンサートです。

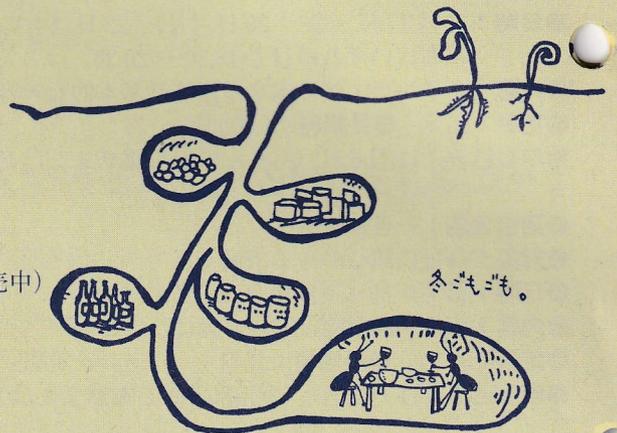
●日時：11月4日（土）19:00～21:00

オストロボスニア室内管弦楽団
（指揮/ユハ・カンガス）、
ピアノ/館野泉

●場所：札幌コンサートホール Kitara 大ホール
（中央区中島公園1-15 TEL 011-520-2000）

●入場料：S席自由4000円、A席自由3000円
（市内各プレイガイドおよび国際プラザにて発売中）

●問い合わせ先：国際プラザ・プロジェクト課
TEL 011-211-2105



11/11・12

「21世紀の野生動物の救護を考える」

●内容：野生動物救護研究会は設立から10年を迎えました。その10周年記念シンポジウムを下記のとおり開催します。野生動物ボランティアセンター馬場国敏氏の基調講演やパネルディスカッション、事例発表などもあります。多くの方のご参加をお待ちしています。

●日時：11月11日（土）13:30～17:00

基調講演「ボランティア活動としての野生動物救護」（仮題）

野生動物ボランティアセンター 馬場国敏氏

パネルディスカッション「ワイルドライフレスキューは社会を変えられるか」

パネリスト・網野泰蔵氏（福岡県獣医師会） ・野生動物サポートネットワーク（神奈川県）

・関直樹氏（道庁自然環境課主幹） ・森田正治氏（野生動物救護研究会会長）

コーディネーター 黒沢信道氏（野生動物救護研究会 副会長）

11月12日（日）9:00～12:00 事例発表と総会

●場所：酪農学園大学 中央館学生ホール（江別市文京台緑町582）

●参加費：500円 参加申し込みが必要です。

●申し込み・問い合わせ先：野生動物救護研究会 事務局

（北区北9条西4丁目エルムビル エコ・ネットワーク内）

TEL 011-737-7841 FAX 011-737-9606 E-Mail: eco@hokkai.or.jp

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道女子大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ、ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスターム東苗穂、月寒中央)、マックスバリュ厚別

●書店●

本の岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエージ 市内全店、TSUTAYA(北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、SY遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公楽、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●病院●

手稲溪仁会病院、北海道循環器病院、市立札幌病院

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、J T インフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

11月のボラナビの集い

11/10 18:30~20:30
(金) 初心者歓迎!

ゲストスピーカーは、11ページに掲載されているネットワークCAPさっぽろさんです。お楽しみに!

ボラナビ倶楽部宛てに、郵送・Eメール・FAXのいずれかで名前・所属・電話番号をご連絡ください。

場所：環境サポートセンター

北区北7西5札幌千代田ビル1階 TEL011-707-9025

会費：300円。

ボラナビでは、表紙の絵を集めています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

頼まれたら、断れません。

自分の能力を超えていても、やればできるような気になってしまうから、オンロシイです。

そしていつも、後から青さめるのです。

学習能力が無い?イヤホント。

はじめまして。ボラナビ11月号からホームページを担当することになりました、勇気あるパソコン初心者です。

優しくクリックして下さい。・・・ン?

(大丈夫か? My friend 大居智子)



読者の皆様へ

・ボラナビを定期的に欲しい方、お申込下さい。

ご希望の方は、郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望部数をお書き添えの上、1500円をボラナビの口座にお振り込みください(口座番号は最終ページにあります)。6カ月間お届けします。複数部数お届けできますので、サークルや学校単位での購読にご利用下さい。

・「月刊ボラナビ」バックナンバーさしあげます。

バックナンバー(古い号)も配送します(創刊号と3、12号は品切れしてしまいました)。郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望する号と部数をお書き添えの上、ボラナビの口座にお振り込みください(金額は…おまかせします)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

ボラナビでは広告掲載を始めました。縦4センチ横13センチで6万円です(版下制作費込み)。「月刊ボラナビ」への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させて頂いています。企業の方には負担をおかけしますが、このほうが広告の数が限られ、目立ちます!掲載希望の際はご連絡下さい。

※「月刊ボラナビ」は毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、社会福祉協議会などを中心に、350カ所で無料配布しています。

協賛してくださった方々(順不同)

- ・北海道ガス労働組合 様
- ・ヒューマンケアシステム 様
- ・株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・北海道振興株式会社 様
- ・株式会社ホクレン商事 様
- ・株式会社土屋ホーム 様
- ・進藤芳彦 様
- ・札幌通運労働組合 様
- ・北雄ラッキー株式会社 様
- ・高垣正計 様
- ・札幌光星学園 様
- ・真屋幹雄 様
- ・株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・北海道紙商事株式会社 様
- ・中道リース株式会社 様
- ・札幌信用金庫 様
- ・城宝和茂 様
- ・北門信用金庫まちづくり基金 様
- ・ほくでんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・マイクロソフト株式会社 様
- ・北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・札幌ポプラライオンズクラブ 様
- ・北区まちづくり活動コンテスト 様
- ・日本財団 様
- ・赤帽北海道事業本部 様
- ・幡本印刷株式会社 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(数号分まとめての振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座名(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。読者の声等への投稿もお待ちしています(発行日ひと月前までをお願いします)。なお、送られた原稿はスペースの関係等により、主旨をそこなわない範囲で書きなおす場合があります。あらかじめご了承ください。

ボラナビ

CLICK!

ホームページアドレス

<http://www.infosnow.ne.jp/volunavi/>

メールアドレス

volunavi@mb.infosnow.ne.jp

月刊 ボラナビ

■発行:ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日:2000年10月25日

■定価:無料

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社